

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341109	数的リテラシー Numeracy	高 鉄 利行			1	選択	2前期
科目の概要							
<p>数的リテラシーは、日常生活や社会で数学を活用する能力を指します。これは、まさにD5でのpisa型学力ともつながり、D2の自立して生きていくためのスキル・リテラシーであり、D3の専門的知識能力が必要になります。小学校段階からの高等学校初期のレベルまで、日常生活での数的思考力や問題解決能力を高めることを目指していきます。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 算数・数学科における基礎的内容および応用的な内容を5つの領域から学修する ② 基礎的な理論を学び直し、具体的な問題場面について解決の方法を探る。 ③ 日常生活と算数・数学科との関連を理解し、数学的見方・考え方をもとに算数数学の有用性やよさをつかむ。</p>				<p>① 算数・数学科における基礎的内容および応用的な内容を5つの領域を理解し、必要な力を身に付けることができる ② 基礎的な理論を学び直し、具体的な問題場面について解決の方法を探り、問題解決に活かすことができる ③ 日常生活と算数・数学科との関連を理解し、算数数学の有用性やよさを実感することができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	算数・数学と日常生活との関連について、既習の内容と関連付け、自分なりの考えをもって取り組むことができる					
	働きかけ力	算数・数学について学び直し、自身の苦手や得意を意識して克服することができる					
	実行力	課題に対して、試行錯誤しながら他者の意見を聞きながら何度も粘り強く取り組む					
考え抜く力	課題発見力	算数・数学と日常生活との関連について、新たな疑問や課題意識をもち、何度も粘り強く考え続ける					
	計画力	算数・数学としての系統性を理解し、数学的な見方・考え方を生かしつつ発表など計画することができる					
	創造力	問題場面や日常生活との関連について、統合的発展的に考察することができる					
チームで働く力	発信力	ペアやグループでの活動について、自分の考えを生かしながらも力を合わせて発表することができる					
	傾聴力	人の意見を聞き、自分の考えと対比して相手をリスペクトしながら対応することができる					
	柔軟性	講義や課題に対して、自分のもっている考えと比較しながら対応できる					
	状況把握力	発表や対話の際には、自分の考えを出しつつも、相手をリスペクトして対応することができる。					
	規律性	人の意見を聞き、自分の考えと対比して思考することができる					
	ストレスコントロール力	課題意識をもって、自分でもやれるできるといった意識を持続することができる					
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト ・ 振興出版啓林館 算数教科書5年・6年 参考文献（購入義務はない） ・ 文部科学省「小学校学習指導要領解説 算数編」</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>「数的リテラシー」では、では、その後に履修する「算数科研究」や「算数科教育法」の土台となる科目であり、算数・数学に関する基礎的な知識を活用して問題解決を学ぶ基礎となる科目である。 資格：小学校教諭一種</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>小中学校や高等学校にて学んできた算数数学の内容を思い起こしながら、算数数学のつながりを意識できると、算数数学に対する見方が変わってきます。得意不得意はあっても、新たに算数数学を学び直す意識で授業に臨むことを期待しています。</p>				<p>個人的なことを持ち込まず、講義に対して良識をもって臨みましょう。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント						
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
	平常評価	小テスト		35	①	✓					(獲得) 基本的な算数数学の問題を解くことができる。(40%) (活用) 具体的な問題場面で、学修した数学的見方・考え方を生かして問題を解くことができる。 (解決) 発展的応用的な問題を5つの領域においての見方・考え方を生かし問題解決することができる。
					②	✓					
					③	✓					
		レポート		30	①	✓					(獲得) 学んだ内容をワークシートにかくことができる。(40%) (活用) 学んだ内容の中から大切な部分を強調してまとめることができる。(20%) (解決) 内容や議論したことについて自分なりの考えを経験を通して考察し、感想を交えてまとめることができる。(30%)
					②	✓					
					③	✓					
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		25	①	✓					(獲得) 日常生活と算数数学との関連を十分調べて資料を集めることができる。(20%) (活用) 集めた資料をもとに、パワーポイントで要点をまとめ自分の言葉で、相手に伝わるようにまとめることができる。(40%) (解決) 日常生活と算数数学との関連について、相手に伝わるように言葉や内容を工夫することができる。(40%)		
			②	✓							
			③	✓							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓				(主体性) 教科書など算数数学に関する資料をもとに、問題解決に生かすことができる。 (課題発見力) ペアや班の話し合いで課題を見つけることができる。 (創造力) ペアでの取り組みを参考に、自分なりのアイデアを提案できる。 (実行力) グループでの活動できちんと自分の役割を果たすことができる。 (発信力) 必要なときに意見を述べたり、発表したりできる。 (規律性) 学修のルールを守ることができる。 (傾聴力) 他者の意見に納得したり、質疑を表明したりできる。		
				②	✓						
				③	✓						
総合評価割合			100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・ Sは、講義に積極的に参加し、日常生活への関連や数学的見方・考え方に興味をもち取り組むことができる。また、課題の内容を熟知し、日常生活と算数との関連やよさを感じ、問題解決に対して他人に説明できている。</p> <p>・ Aは、講義に積極的に参加し、日常生活への関連や数学的見方・考え方に興味をもち、算数数学科におけるさまざまな領域に対して、数学的見方・考え方を十分活用させ問題解決に活かすことができる。</p> <p>また、算数の具体的問題を解くことができ、他人に説明することができる。</p> <p>Aは、課題の内容を熟知し、日常事象と算数の関連をつかみ、小学校算数の基本概念を理解できている。また、算数の具体的問題を解くことができる。</p>	<p>・ Bは、講義に参加し、講義内容を理解し、日常生活への関連や数学的見方・考え方が働いていることに気づき問題解決に活かすことができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・受講のルールや年間の計画について知る。 ・学習指導要領の基本的な内容について理解する。 ・数当てゲームを通して、数的リテラシーの意味について理解する。 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	数的リテラシーとしての講義の目的や内容を既習の講義との違いを意識し理解することができる。数当てゲームの仕組みを理解する。	<p><予習>自身の算数数学の学んだ意識について振り返ってくる。</p> <p>簡単な算数数学の問題を解いてくる。</p> <p><復習>講義の目的や内容について振り返り受講するかどうかを判断できるようにする。</p>	60	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
2	<ul style="list-style-type: none"> ・算数を学ぶ目的、次期学習指導要領の内容について理解する① ・算数数学と論理的思考力のつながりについて知る① ・自身の算数数学を学んだ歴史についてまとめる① 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・現学指導要領と次期学習指導要領の内容について関連付けて理解することができる。 ・自身の算数数学の学んだ歴史について振り返りまとめることができる。 	<p><予習>次期学習指導要領について調べてくる。算数数学の問題を解いてくる。</p> <p><復習>学習指導要領について学んだ内容を振り返る。</p>	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
3	<ul style="list-style-type: none"> ・算数を学ぶ目的、次期学習指導要領の内容について理解する② ・算数数学と論理的思考力のつながりについて知る② ・自身の算数数学を学んだ歴史についてまとめる② 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・現学指導要領と次期学習指導要領の内容について関連付けて理解することができる。 ・自身の算数数学の学んだ歴史について発表を聞き、自身とつなげて振り返り感想を述べるができる。 	<p><予習>次期学習指導要領について調べてくる。算数数学の問題を解いてくる。</p> <p><復習>学習指導要領について学んだ内容を振り返る。</p>	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
4	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代に求められる学力(資質能力)について理解する①。 ・算数数学の力をつけるための必要な力について考える。 ・割合や速さなど教科書を使って基礎を学び直す① 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・時代によって求められる学力が違ってきていることを説明できる。 ・算数数学ができるようになるための条件について、自分史をもとに考察することができる。 	<p><予習>次期学習指導要領について調べてくる。算数数学の問題を解いてくる。</p> <p><復習>学習指導要領について学んだ内容を振り返る。</p>	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
5	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代に求められる学力(資質能力)について理解する② ・割合や速さ、平均など教科書を使って基礎を学び直す② ・「日常生活にある算数数学さがし」について作成例をみて発表の準備をする① 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・算数数学を通して身に付ける力について理解することができる。 ・割合や速さ、平均など基礎について理解し問題解決ができる。 	<p><予習>非認知能力について調べてくる。算数数学の問題を解いてくる。</p> <p><復習>これからの時代に求められる資質能力について振り返る。</p>	60	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6	<ul style="list-style-type: none"> ・割合や速さ、平均など教科書を使って基礎を学び直す③ ・「数や計算(文字式を含む)」について学び直し、問題を解く① ・「日常生活にある算数数学さがし」について作成例をみて発表の準備をする② 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・割合や速さ、「数や計算(文字式を含む)」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 	<p><予習>小テストに向けて、振り返り力をつけてくる。</p> <p><復習>学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる。</p>	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	<ul style="list-style-type: none"> ・割合や速さ、平均など教科書を使って基礎を学び直す④ ・「数や計算(文字式を含む)」について学び直し、問題を解く② ・小テストを実施する。 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク、小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「数や計算(文字式を含む)」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・講義のまとめを通して、自身の成長を振り返ることができる。 ・小テストに対して、粘り強く取り組むことができる。 	<p><予習>講義で扱った類似問題を解いてくる。</p> <p><復習>学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる。</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
8	<ul style="list-style-type: none"> ・「データの活用」について学び直し、問題を解く① ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する① 	講義、演習、視聴 ペアワーク、グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・「データの活用」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数数学さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 	<p><予習>講義で扱った類似問題を解いてくる。発表の準備をする。</p> <p><復習>学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる。</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「データの活用」について学び直し、問題を解く② ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する② 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・「データの活用」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 	<p><予習> 講義で扱った類似問題を解いてくる。発表の準備をする。</p> <p><復習> 学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
10	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形(平面図形、空間図形)」について学び直し、問題を解く① ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する③ 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 	<p><予習> 小テストに向けて、振り返り力をつけてくる。</p> <p><復習> 学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
11	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形(平面図形、空間図形)」について学び直し、問題を解く② ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する④ 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク, 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 ・小テストに対して、粘り強く取り組むことができる。 	<p><予習> 講義で扱った類似問題を解いてくる。発表の準備をする。</p> <p><復習> 学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
12	<ul style="list-style-type: none"> ・「変化と関係」について学び直し、問題を解く① ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する⑤ 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・「変化と関係」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 	<p><予習> 講義で扱った類似問題を解いてくる。発表の準備をする。</p> <p><復習> 学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
13	<ul style="list-style-type: none"> ・「変化と関係」について学び直し、問題を解く② ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する⑥ 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・「変化と関係」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 	<p><予習> 講義で扱った類似問題を解いてくる。発表の準備をする。</p> <p><復習> 学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
14	<ul style="list-style-type: none"> ・「変化と関係」について学び直し、問題を解く③ ・「日常生活にある算数数学さがし」について発表する⑦ 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・「変化と関係」の基本的な内容を理解し、基本的な問題を解くことができる。 ・「日常生活にある算数さがし」の発表を自身の経験と結びつけて考察することができる。 	<p><予習> 小テストに向けて、振り返り力をつけてくる。</p> <p><復習> 学んだ内容を振り返り、数値が変わっても解けるようにしてくる</p>	60	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
15	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のまとめを行い、自身の算数数学に対する見方考え方について振り返る。 ・小テストを行う。 	講義, 演習, 視聴ペアワーク, グループワーク, 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のまとめを通して、自身の成長を振り返ることができる。 ・小テストに対して、粘り強く取り組むことができる。 	<p><復習> 小テストや講義を通して、算数数学のよさや有用性、問題解決へのコツについて振り返り今後を生かせるようにする。</p>	60	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力